

おらほの病院

116

〜あたたかな医療をめざして〜

諏訪中央病院 リレーコラム

人口減少とがん診療の未来



とび た こう すけ
飛田 浩輔

飛田 浩輔 (とびた・こうすけ)
外科部長。25年間東海大学医学部附属病院
消化器外科勤務を経て令和5年より諏訪中央
病院現職。茅野市・諏訪中央病院共同「がん
検診推進プロジェクト」活動中。

ける事は普通のこと。しかしなが
ら診療はすべてコストがかか
ります。画像診断にしても血液
検査にしても手術にしても、は
たまた注射点滴一本にしても実
ける事は普通のこと。しかしなが
ら診療はすべてコストがかか
ります。画像診断にしても血液
検査にしても手術にしても、は
たまた注射点滴一本にしても実

って十分適切な医療体制を提供
し、同時に医療機関も赤字では
なく地域医療を維持できる社会
を目指す事となります。

そんな中、一点注意を申し上
げたい。先に述べたように人口
は減り続け、病院も必要度に
応じて機能分担と集約化が進
み、地域の病床総数は減少して
行きます。しかし病気が減少し
て行くと誤解してはなりません
。総人口は減るが高齢者は2
050年ころまで増え続け(高
齢化は進行する)、そして高齢
者に多い疾病は増え続けるので
す。最たるものは日本人の死因
圧倒的1位の悪性腫瘍がん。
2040年代まで発生数も死亡
数も増加傾向と試算されていま
す。がんから健康をどのように
守っていけば良いか?

今年も毎年5月恒例となった
がんをテーマにした「ほろ酔い
勉強会」を開催します。今回は
私以外にもがん診療のエキス
パート2人を迎え、ご参加い
ただける皆さまとの質疑応答も
たっぷり準備してお待ちしてい
ます。

次回(6月7日掲載予定
(題字は鎌田實名誉院長)

諏訪中央病院 外科部長

茅野市と共同で開始したがん
早期発見を目指したがん検診推
進活動も3年目を迎え、「おら
ほの病院」への執筆も3回目と
なります。八ヶ岳西南麓を中心
に毎年30箇所ほど公民館や役所
関連施設で講演活動に回らせて
いただいております、テーマは主に
生活習慣病・フレイル対策、そ
してがん検診促進です。これま
でもお伝えしてきたように、進
行した疾患を治療するより、疾
患の予防早期発見を目指す方
が、患者の負担も少なく、治療
費も治療期間も短く健康回復が
目指せるのですから。おかげさ
まで、がん検診受診者数に関し
ては、茅野市のデータでは、一
昨年で前年比24%増、昨年は前
年比10%増と増えてますが、増
加中の高齢者全体数を考慮すれ
ば、未だ訪問をしていない地区
は多数残っておりまだまだこれ
からと感じています。

日本人の少子高齢化による人
口減少は、政治的にも経済的に
も問題視されている昨今、人口
減少が医療現場に及ぼす影響を
ご存じでしょうか?日本が世界
に誇る国民皆保険のもと、健康
を害する人が病気で診療を受

第278回
ほろ酔い勉強会

2026
5/20(水)
14:30~16:00
【会場】
諏訪中央病院 講堂

がんを
見つける
がんを
闘う
付き合う
寄り添う

**諏訪中央病院の
がん診療**

がん診療エキスパート集結!

- 「がん検診の重要性」
外科部長
飛田 浩輔 医師 (司会)
- 「肺がん診療の現状」
呼吸器内科医長
関 智行 医師
- 「がん治療から緩和まで」
腫瘍内科部長兼
緩和ケア科部長
山崎 美佐子 医師

15:30~閉会まで、たっぷり質問タイム!
がんについての疑問や悩みに専門医師がお応え
します。この機会に何でもご相談ください。

お問合せ先: 諏訪中央病院 広報調整係 0266-72-1000 (内線1557)
病院ホームページ: www.suwachuo.jp 主催: 諏訪中央病院

経営難に苦しんで
います。黒字転換
にできる程、診療
単価を上げれば
(診療報酬改定と
いう)すなわち患
者の診療費負担が
増すことになり、
それも大問題で
す。今後は未来の
医療必要度を分析
し、地域毎に高度
医療拠点病院や益
々増加する高齢者
救急や在宅治療と
いった役割機能分
担と集約が進めら
れ、地域住民にと